

製品名: PKN1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02452**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 104 kDa; Observed MW: 120 kDa

抗原情報

遺伝子名	PKN1
別名	DBK; PKN; PAK1; PRK1; PAK-1; PRKCL1; PKN-ALPHA
遺伝子 ID	5585
SwissProt ID	Q16512
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

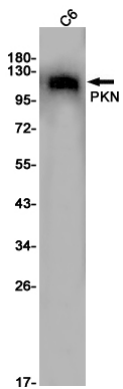
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、プロテインキナーゼ C スーパーファミリーに属します。このキナーゼは、低分子 G

タンパク質である Rho ファミリーによって活性化され、Rho 依存性シグナル伝達経路を媒介する可能性があります。このキナーゼは、リン脂質および限定的なタンパク質分解によって活性化されます。3-ホスホイノシチド依存性プロテインキナーゼ-1 (PDPK1/PDK1) は、このキナーゼをリン酸化することが報告されており、アクチン細胞骨格へのインスリンシグナルを媒介する可能性があります。アポトーシス過程において、カスパーゼ-3 または関連プロテアーゼによってこのキナーゼがタンパク質分解活性化されることは、アポトーシスに関連するシグナル伝達における役割を示唆しています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが観察されています。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



PKN1 抗体を使用した C6 溶解物中の PKN のウェスタンブロット分析。